

## 市町村健康増進計画等の推進に係る取組について（R4年度）

市町村名	都城市
事業名	糖尿病重症化予防事業(尿中微量アルブミン検査)
対象者	次の対象者のうち該当するものの□に✓をしてください。「その他」については、内容をお答えください。（複数回答可）
1 住民全体	<input type="checkbox"/>
2 出生～児童・青年の世代	<input type="checkbox"/>
3 働く世代	<input type="checkbox"/>
4 高齢期	<input type="checkbox"/>
5 その他	<input checked="" type="checkbox"/>
その他の内容 市の特定健診受診者	
事業概要	糖尿病性腎症を早期発見するため、市の特定健診受診者のうち、「HbA1c6.5%以上」「糖尿病未治療及び治療中断者」「蛋白尿（-）又は（±）」のすべてに該当する方に対し、尿中微量アルブミン検査の費用助成を行う。
参加者数	対象：472件 検査受診：301件
事業予算	3,721千円
事業効果等	<p>検査受診率向上のため、案内文書の見直しや検査助成券の有効期間を約3ヶ月に短縮。助成券有効期限の前に、電話で受診勧奨を行った。</p> <p>また、未受診者に対して文書や電話、訪問を行い受診勧奨を行った。</p> <p>令和元年度・・・37.0%          令和2年度・・・56.2%          令和3年度・・・48.3%          令和4年度・・・63.8% ←検査費用助成開始から受診率が一番高い</p> <p>令和3年度検査対象者445人のうち、HbA1c7.0%以上であった53人の翌年度のHbA1c値結果を追跡。</p> <p>HbA1c7.0%未満に改善した方は18人（33.9%）であった。</p> <p>尿中微量アルブミン検査を受診することによって、糖尿病性腎症の早期発見につながるだけでなく、糖尿病の治療開始や生活習慣改善につながり、HbA1c値の改善に効果があることが推測された。</p>

課題等

- ・尿中アルブミン検査の受診率をさらに向上させることが必要
- ・尿中アルブミン検査の重要性について、市民や医療機関に啓発することが必要

写真・グラフ等